別紙3　点検表記録様式　　様式（その1）

横断歩道橋名・所在地・管理者名等

横断歩道橋名	路線名	所在地		設置位置	緯度	35° 46′ 54.9″
					経度	138° 41′ 39.8″
上松歩道橋 （フリガナ）　アゲマツホドウキョウ	町道1-20号線	長野県木曽郡上松町本町通り				
管理者名	点検実施年月日	2017年　7月　20日	点検員	株式会社長野技研　野村 誠子		
上松町役場	調査実施年月日		調査員※1			
代替路の有無	緊急輸送道路	占用物件（名称）				
有	その他	－				

部材単位の健全性の診断（部材毎に最も悪い判定区分を記入）

点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	腐食	写真1～写真4			
	横桁	Ⅲ	腐食	写真5			
	床版等	Ⅲ	腐食	写真6			
下部構造		Ⅰ					
階段部		Ⅱ	欠損・うき・脱落	写真7～写真9			
その他		Ⅲ	腐食・欠損	写真10～写真13			

横断歩道橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録		措置後に記録	
（判定区分）	（所見等）	（再判定区分）	（再判定実施年月日）
Ⅲ	鋼材部の腐食・板厚減少が進行しており、早期の補修が必要		

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次※2	橋長（m）	通路幅員（m）
1968年	14.9	1.5

※塗装塗替-1999年11月

起点側

※1：調査員は、非破壊検査（板厚調査、き裂調査等）を実施した請負者等を記入する。
※2：架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

横断歩道橋名	上松歩道橋	路線名	町道1-20号線	点検員	株式会社長野技研　野村誠子	点検年月日	2017年　7月　20日
		管理者名	上松町役場	調査員			

写真番号		写真1	
部材名		上部構造 主桁	
変状の種類		変形	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		探傷試験	調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）			措置年月日
備考欄		下ﾌﾗﾝｼﾞ・ウエブが車輌衝突により変形。	

写真番号		写真2	
部材名		上部構造 主桁	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		探傷試験	調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		塗装塗替	措置年月日
備考欄		下ﾌﾗﾝｼﾞ下面が車輌衝突により塗膜剥離→防食機能が劣化。	

写真番号		写真3	
部材名		上部構造 主桁	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅱ	
	措置後		
調査（方針）			調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		塗装塗替	措置年月日
備考欄		ｳｴﾌﾞ外側が経年劣化。	

写真番号		写真4	
部材名		上部構造 主桁(地覆上面)	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）			調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		塗装塗替	措置年月日
備考欄		上フランジ上面の防食機能劣化・腐食。	

〇部材単位の健全性の診断（判定区分）が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

状況写真（損傷状況）

横断歩道橋名	上松歩道橋	路線名	町道1-20号線	点検員	株式会社長野技研　野村誠子	点検年月日	2017年　7月　20日
		管理者名	上松町役場	調査員			

写真番号		写真5	
部材名		上部構造 横桁	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		板厚調査	調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		防水工・塗装塗替	措置年月日
備考欄		床版・排水桝からの漏水により、上ﾌﾗﾝｼﾞの腐食進行、板厚が減少 ※早期の補修が必要	

写真番号		写真6	
部材名		上部構造 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		板厚調査	調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		防水工・塗装塗替	措置年月日
備考欄		ジョイント部からの漏水により腐食が進行しており早期の補修が必要	

写真番号		写真7	
部材名		階段部 踏み板	
変状の種類		ゆるみ脱落	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）			調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		滑止め金具の設置 ﾈｼﾞ締め	措置年月日
備考欄		滑り止め金具の脱落・止めﾈｼﾞゆるみによる浮き ※通学路であるため、早急な補修が必要	

写真番号		写真8	
部材名		階段部 踏み板	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅱ	
	措置後		
調査（方針）			調査年月日　2017年　7月　20日
措置（方針）		防水工・塗装塗替	措置年月日
備考欄		踏面端部からの漏水により腐食が進行しており早期の補修が必要	

〇部材単位の健全性の診断（判定区分）が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。

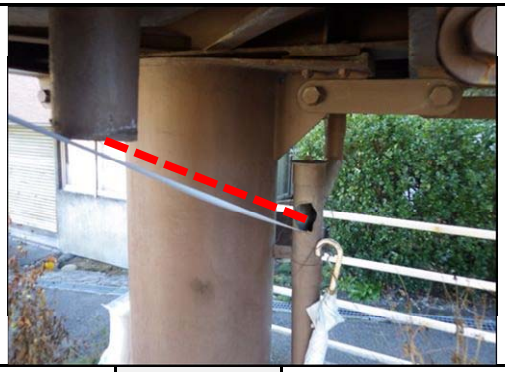
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

状況写真（損傷状況）

横断歩道橋名	上松歩道橋	路線名	町道1-20号線	点検員	株式会社長野技研　野村誠子	点検年月日	2017年　7月　20日
		管理者名	上松町役場	調査員			

写真番号		写真9	
部材名		階段部 A2橋台	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		調査年月日	2017年　7月　20日
措置（方針）	橋座補修	措置年月日	
備考欄	骨材が露出しているため、国道へ落下する危険がある ※早急な補修が必要		

写真番号		写真10	
部材名		その他 排水管	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		調査年月日	2017年　7月　20日
措置（方針）	取替	措置年月日	
備考欄	溶接箇所から漏水し、床板,横桁を含め排水経路が腐食し板厚減少　※早期の補修が必要		

写真番号		写真11	
部材名		その他 排水管	
変状の種類		欠損	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		調査年月日	2017年　7月　20日
措置（方針）	導水管取付	措置年月日	
備考欄	導水管取り外しによる		

写真番号		写真12	
部材名		その他 排水樋	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅲ	
	措置後		
調査（方針）		調査年月日	2017年　7月　20日
措置（方針）	取替	措置年月日	
備考欄	腐食・板厚減少しており、落下の危険性がある ※早急な取替が必要		

〇部材単位の健全性の診断（判定区分）が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

状況写真（損傷状況）

横断歩道橋名	上松歩道橋	路線名	町道1-20号線	点検員	株式会社長野技研　野村誠子	点検年月日	2017年　7月　20日
		管理者名	上松町役場	調査員			

写真番号		写真13			
部材名		その他 手すり			
変状の種類		腐食			
健全性の診断	点検時（調査時）	Ⅱ			
	措置後				
調査（方針）			調査年月日	2017年　7月　20日	
措置（方針）		塗装塗替	措置年月日		
備考欄		経年劣化			

写真番号					
部材名					
変状の種類					
健全性の診断	点検時（調査時）				
	措置後				
調査（方針）			調査年月日		
措置（方針）			措置年月日		
備考欄					

写真番号					
部材名					
変状の種類					
健全性の診断	点検時（調査時）				
	措置後				
調査（方針）			調査年月日		
措置（方針）			措置年月日		
備考欄					

写真番号					
部材名					
変状の種類					
健全性の診断	点検時（調査時）				
	措置後				
調査（方針）			調査年月日		
措置（方針）			措置年月日		
備考欄					

〇部材単位の健全性の診断（判定区分）が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。